

Tokyo-Southeast Asia Capitals Dialogue for Sustainability (TOKYO-SEADS)

共同声明

2026年4月29日

都市が直面する課題は、個々の都市の枠を超えて拡大しています。その対応の最前線に立つ都市が協働して課題に立ち向かい、持続可能な都市の実現に向けて知見や経験を共有することがこれまで以上に重要となっています。

東京及び東南アジア各都市は、それぞれに異なる都市構造や背景を有しながらも、気候変動の深刻化に伴う自然災害の激甚化、インフラの整備・更新、高齢化、ウェルビーイングの向上など、共通する多様な課題に直面しています。

中でも、近年、風水害をはじめとする自然災害の脅威が増大しています。市民の生命や財産を守り抜くため、地理的にも近く、交流が盛んな東京及び東南アジア各都市が都市間の連携を一層強化し、相互に学び合う実践的な取組を進めることが極めて重要です。

私たち Tokyo-Southeast Asia Capitals Dialogue for Sustainability (TOKYO-SEADS) に参加する都市（東京都、バンコク、ディリ、ハノイ、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、ポンペン、シンガポール、ビエンチャン）は、本日、「風水害対策と都市インフラの整備」を主要テーマとし議論を行いました。

私たちは、各都市が持つ強みと経験を相互に学び合うことを通じて、以下に示す取組を更に進め、レジリエント（強靱）かつ持続可能な都市の未来を共に創造していくことを目指します。

【注力する分野】

- 風水害対策（河川堤防、調節池、下水道、防潮堤等）
- 都市インフラの整備・更新、維持管理（道路、水道、下水道、港湾等）
- 上記分野におけるデジタル技術の活用 等

【実践的取組】

1. 事例や情報の共有
各都市の取組事例や最新情報を積極的に共有し、定期的に交流の場を設け、相互に学び合うこと
2. 共同プロジェクトの実施
都市間での技術協力、専門家派遣、現場視察、研修などの共同プロジェクトを実施することにより、実効性のある協力を進めること
3. 取組の実践
取組事例や最新情報、共同プロジェクトの結果を踏まえ、参加都市が具体的な取組を推進すること
4. 進捗の確認と成果の共有
上記1から3の取組の進捗状況を定期的に確認し、得られた成果を共有すること